※令和４年度以降入学生用

学校番号	3020

令和５年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	ディベート・ディスカッションⅠ	2	1	Vision Quest New English Grammar 24 Heartening English Communication　Ⅰ

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学んだ英語表現をどう使うか考えながら学習するのが英語のアウトプット力を高める鍵です。予習復習を徹底して授業に臨みましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・日常的なあいさつや簡単な指示を理解することができる。 ・日常的に必要なことがらについて、内容を聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校などの身の回りのことに関する短い会話や説明を聞き、挿絵や写真などを参考にしながら理解することができる。	・日常生活で使われる英語の中の語句や簡単な文章を理解することができる。 ・基本的な語句や表現で書かれたごく短い物語を読み、挿絵や写真を参考にしながらあらすじを理解することができる。 ・身近な事柄について簡単な英語で書かれたごく短い説明を読み、挿絵や写真を参考にしながら概要を理解することができる。	・相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができる。 ・相手のサポート（ゆっくり話したり、繰り返したり、簡単な語句に言い換えるなど）があれば、ごく身近なトピックについて、簡単な語句や表現を使って質疑応答をすることができる。	・簡単な語句や文を用いて、自分のことを紹介できる。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・自分についての基本的な情報を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 ・ごく身近なトピックについて、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の３つの領域(話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと)について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	<Vision Quest> Lesson 1 ~7 [文の組み立て・時制]	〈書くこと〉	a: 〈S＋V＋C〉と〈S＋V＋O〉の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。 b: 〈S＋V＋C〉と〈S＋V＋O〉の意味・用法の違いを意識し，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく書くことができる。 c: 適切な文型を用いて，自己紹介の文章を書こうとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
	<Heartening> Lesson 1 [Bringing Out the Best in Himself]	〈話すこと〉 [発表]	a: 学校生活の目標について，自分の考えを述べるための背景知識・語彙・表現を習得している。 b: 学校生活の目標について，教科書に掲載している表現を参考に，適切な思考・判断をもって自分の考えを正しく話ことができる。 c: 学校生活の目標について，理由を含めて伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 [やり取り]	a: 英語と日本語における時制の違いを理解し，その使い分けができる。 b: 英語と日本語における時制の違いを意識し，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく話すことができる。 c: 積極的にクラスメートとインタビューをし合い，適切な文型を使って，その内容についてクラスで共有しようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
	中間考査			
	<Vision Quest> Lesson 8~11 [助動詞・受動態]	〈書くこと〉	a: can, may の意味・用法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b: can, may を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく書くことができる。 c: 本文に出てくる警察犬”Anzu”について，自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
	<Heartening> Lesson 2 [Hold On, Anzu!] Lesson 3 [We can make a difference]	〈話すこと〉 [発表]	a: 未来表現や can,may の意味・用法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b: 未来表現や can,may を用いて，適切な思考・判断をもって自分の言いたいことを正しく発表することができる。 c: 本文に出てくる警察犬”Anzu”について，自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 [やり取り]	a: must や should の意味・用法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b: must や should を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく話すことができる。 c: 「CO2 を減らすために何ができるか」という論題について，自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
	期末考査			
2 学期	<Vision Quest> Lesson 12~17 [準動詞]	〈書くこと〉	a: to do の意味・用法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b: to do を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく書くことができる。 c: 恐竜を復活させる方法について，自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
	<Heartening> Lesson 5 [Canned Bread to Feed the World] Lesson 6 [Could we have a real Jurassic park?]	〈話すこと〉 [発表]	a: want O to do もしくは let/make O do の意味・用法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b: want O to do もしくは let/make O do を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく発表することができる。 c: 教科書の本文に出てきた姉妹校へのメッセージについて，自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 [やり取り]	a: want O to do もしくは let/make O do の意味・用法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b: want O to do もしくは let/make O do を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく発表することができる。 c: 教科書の本文に出てきた姉妹校へのメッセージについて，自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
	中間考査			

※令和４年度以降入学生用

	<Vision Quest> Lesson 18~22 [関係詞・比較] <Heartening> Lesson 8 [The World's Winter Festivals] Lesson 7 [Behind the Price Tag]	〈書くこと〉	a: 比較表現を理解し，状況に応じて使うことができる。 b: 比較表現を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく書くことができる。 c: 冬祭りに参加するための用紙を記入するにあたって、自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 [発表]	a: 比較表現を理解し，状況に応じて使うことができる。 b: 比較表現を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく発表することができる。 c: 冬祭りに参加するためにあたって、自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 [やり取り]	a: 比較表現を理解し，状況に応じて使うことがでる。 b: 比較表現などを用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく話すことができる。 c: 「安い衣服を購入するべきでない」という意見に対する、自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
	期末考査			
3 学期	<Vision Quest> Lesson 23~24 [仮定法] <Heartening> Lesson 10 [Capturing the Reality of the World]	〈書くこと〉	a: 仮定法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b: 教科書本文の内容について，わかりやすい紹介記事を書いている。 c: 教科書本文の内容について，わかりやすい紹介記事を書こうとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 [発表]	a: 仮定法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b: 仮定法などを用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく書くことができる。 c: 「何の職業にでもつけるとしたら、どのような仕事がいいか」という論題について，自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 [やり取り]	a: 仮定法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b: 仮定法などを用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく書くことができる。 c: 「何の職業にでもつけるとしたら、どのような仕事がいいか」という質問を投げかけ、質問をすることで相手の話を聞こうとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度